

2019年度大学院授業アンケート結果概要

はじめに

本学大学院（修士課程）における授業アンケートは2005年度から開始されました。

大学院に開講されている全ての授業を対象として、春学期科目、秋学期通年科目ともに12月上旬に行い、その結果については、各研究科委員会に報告されてきました。また、この間、個別科目の回答結果の担当教員への返却、授業アンケート結果等を踏まえた授業改善報告書の作成等、大学院として教育の改善に取り組んできました。

授業アンケート結果については、従来各研究科委員会の中で報告が行われてきましたが、2018年度のアンケートから、学部における授業アンケート結果と同様、IR実施委員会の下で授業アンケート結果の分析を行うこととともに、2019年度から質問項目を一部変更するとともにWebアンケートによる方式に改めました。

各教員が担当する授業のアンケート結果に加えて、大学院全体としての結果を確認することによって、更なる授業改善につなげていく機会にさせていただければと考えています。

実施方法：

演習指導教員を通じて院生に実施を周知。Webアンケートにより実施

実施概要：

| | 臨床心理学 | 犯罪心理学 | 法学 | 経済・経営学 | メディア情報学 | 計 |
|-------|-------|-------|-------|--------|---------|-------|
| 在籍者数 | 7名 | 6名 | 2名 | 12名 | 6名 | 33名 |
| 履修科目数 | 34科目 | 46科目 | 23科目 | 96科目 | 50科目 | 249科目 |
| 回答科目数 | 28科目 | 45科目 | 12科目 | 30科目 | 42科目 | 157科目 |
| 回収率 | 82.4% | 97.8% | 52.2% | 31.3% | 84.0% | 63.1% |

Q1. どの研究科・専攻に所属していますか。

Q2. 何年次生ですか。

全体の回収率は63.1%であり、前年度の77.1%よりもやや下がっています。

昨年同様、経済・経営学専攻を除いた4専攻は高い回収率となっており、アンケートの信頼性を高める上でも有益なものと考えます。改めて、各先生方のご協力の賜物であると感謝申し上げます。

また、学年ごとの回収率は、1年次生65.5%（127/194）、2年次生54.5%（30/55）であり、学年ごとの回収率がほぼ変わらなかった昨年度（1年次生77.9%（127/163）、2年次生74.5%（41/55））と異なり、1年次生の方が10%程度高くなっています。

Q 3. 主にどのような理由でこの科目を履修しましたか。

全体では 1. 必修だから が 35.0%、2. 研究に必要なだから が 25.5%、3. 将来の進路に役立つから が 20.4%、4. 知識・技能を広げるため が 18.5%の順になっていますが、専攻単位では回答内容に差があります。臨床心理学専攻では 3. 将来の進路、法学及びメディア情報学専攻では 2. 研究に必要な、犯罪心理学及び経済・経営学専攻では 1. 必修だから が最上位を占めています。

| 選択肢/専攻 | 臨床 | 犯罪 | 法学 | 経済・経営 | メディア | 計 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 必修 | 28.6% | 42.2% | 33.3% | 46.7% | 23.8% | 35.0% |
| 2. 研究必要 | 7.1% | 13.3% | 66.7% | 33.3% | 33.3% | 25.5% |
| 3. 進路に資する | 53.6% | 22.2% | 0.0% | 3.3% | 14.3% | 20.4% |
| 4. 知識技能 | 10.7% | 22.2% | 0.0% | 16.7% | 26.2% | 18.5% |
| 選択肢 5-8 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 2.4% | 0.6% |

Q 4. この科目の履修は、どのようにして決めましたか。決めるのに最も役に立ったものを1つだけ選んでください。

全体では、3. 教員の指導 が 43.3%と半分弱を占め、2. シラバスを読んで が 34.4%、1. ガイダンスでの説明 15.3%と続いています。2018年度の全体では、2. シラバスを読んで が 43.5%と半分弱を占め、1. ガイダンスでの説明、3. 教員の指導 とともに 23.8%であり傾向に変化が見られます。

臨床心理学専攻では 2. シラバスを読んで が 64.3%でしたが、総合政策研究科では指導教員による履修指導によるという傾向があります。なお、選択肢 4-6 の内訳は、犯罪心理学専攻は 6. その他 2.2%、経済・経営学専攻では、4. 事務の窓口で相談が 10%、メディア情報学専攻では、5. 先輩に相談 14.3%、6. その他 2.4%でした。

| 選択肢/専攻 | 臨床 | 犯罪 | 法学 | 経済・経営 | メディア | 計 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. ガイダンス | 14.3% | 28.9% | 8.3% | 0.0% | 14.3% | 15.3% |
| 2. シラバス | 64.3% | 26.7% | 0.0% | 36.7% | 31.0% | 34.4% |
| 3. 教員の指導 | 21.4% | 42.2% | 91.7% | 53.3% | 38.1% | 43.3% |
| 選択肢 4-6 | 0.0% | 2.2% | 0.0% | 10.0% | 16.7% | 7.0% |

Q 5. 授業開始時に示されたシラバスに沿った授業が行われていましたか。

シラバスに関する設問は今年度から問い方を変え、シラバスの実施に関する問いに変更しました。各専攻ともに肯定的な回答が殆どであり、沿っていないを選択した回答はありませんでした。

| 選択肢/専攻 | 臨床 | 犯罪 | 法学 | 経済・経営 | メディア | 計 |
|-------------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 1. きちんと | 92.9% | 64.4% | 100.0% | 96.7% | 92.9% | 86.0% |
| 2. ある程度 | 7.1% | 33.3% | 0.0% | 3.3% | 7.1% | 13.4% |
| 3. どちらとも | 0.0% | 2.2% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.6% |
| 4. 5 沿っていない | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

Q 6. この科目の到達目標は明確に示されていましたか。

この設問については、各専攻ともに肯定的な選択肢のみの回答でした。

| 選択肢/専攻 | 臨床 | 犯罪 | 法学 | 経済・経営 | メディア | 計 |
|------------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|
| 1. 大変明確 | 92.9% | 55.6% | 100.0% | 100.0% | 83.3% | 81.5% |
| 2. かなり明確 | 7.1% | 44.4% | 0.0% | 0.0% | 16.7% | 18.5% |
| 3. 何ともいえない | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 4. 5. 不明確 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

Q 7. この科目の欠席回数は何回でしたか。

各専攻とも3回以内とする回答が殆ど（全体で99.4%）を占め、前年度の90.5%を大きく上回っています。

| 選択肢/専攻 | 臨床 | 犯罪 | 法学 | 経済・経営 | メディア | 計 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 0回 | 35.7% | 91.1% | 91.7% | 60.0% | 59.5% | 66.9% |
| 2. 1-3回 | 64.3% | 6.7% | 8.3% | 40.0% | 40.5% | 32.5% |
| 3. 4-7回 | 0.0% | 2.2% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.6% |
| 4. 5. 8回以上 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

Q 8. 授業時間以外に、この科目のために一週間に平均してどれぐらい勉強しましたか？

全体を通じては、1~4の各選択肢がほぼ均等な結果になりました。各専攻の必修演習科目では回答20件中17件が1.2（2時間以上）を選択していることから、比較的学習時間をかけていることが伺えます。なお、6.0分を選んだ回答はありませんでした。

| 選択肢/専攻 | 臨床 | 犯罪 | 法学 | 経済・経営 | メディア | 計 |
|------------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 1. 4時間以上 | 25.0% | 26.7% | 100.0% | 13.3% | 35.7% | 31.8% |
| 2. 4-2時間 | 3.6% | 28.9% | 0.0% | 33.3% | 14.3% | 19.1% |
| 3. 2-1時間 | 32.1% | 22.2% | 0.0% | 16.7% | 23.8% | 21.7% |
| 4. 1時間-30分 | 32.1% | 20.0% | 0.0% | 36.7% | 23.8% | 24.8% |
| 5. 30分以下 | 7.1% | 2.2% | 0.0% | 0.0% | 2.4% | 2.5% |
| 6. 0分 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

Q 9. テキストや配布資料などは授業を理解するうえで役に立ちましたか。

各専攻ともに役立つという回答が95%以上を占め、全体では97.5%が役立つと回答しています。また、4.あまり役に立たなかった、5.全く役に立たなかったという回答はありませんでした。

| 選択肢/専攻 | 臨床 | 犯罪 | 法学 | 経済・経営 | メディア | 計 |
|------------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|
| 1. たいへん | 75.0% | 46.7% | 100.0% | 100.0% | 59.5% | 69.4% |
| 2. かなり | 25.0% | 48.9% | 0.0% | 0.0% | 35.7% | 28.0% |
| 3. どちらとも | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 4.8% | 1.3% |
| 4. あまり | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 5. 全く | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 6. 使われなかった | 0.0% | 4.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 1.3% |

Q 1 4. この科目に対するあなたの学修及び研究に対する取組を自己評価してください。

今年度新設の設問ですが、99.4%が肯定的な回答をしています。なお、選択肢 4.5（あまり・全く取組みなかつた）を選択した回答はありませんでした。

| 選択肢/専攻 | 臨床 | 犯罪 | 法学 | 経済・経営 | メディア | 計 |
|----------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 1. たいへん | 32.1% | 20.0% | 100.0% | 90.0% | 66.7% | 54.1% |
| 2. かなり | 67.9% | 77.8% | 0.0% | 10.0% | 33.3% | 45.2% |
| 3. どちらとも | 0.0% | 2.2% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.6% |

まとめ

2019年度の授業アンケートについては、前年度と同様、経済・経営学専攻で回収率が低いものの他の4専攻については、満足すべき回収率を確保できました。

各設問の回答については、Q 3. 科目履修理由、Q 8. 自習時間、Q 1 3. 研究（テーマ）への手掛かりの3設問でややばらつきが見られますが、他の設問では、肯定的な回答が多数を占め、また、前年度よりも肯定的な回答の割合が高くなっています。回収率が前年度-14.0%であることから、余り熱心に取り組んでいない学生からの回答が減った可能性も考えられますが、肯定的な回答の割合が増えていることは良い傾向であると言えるでしょう。

Q 8. 自習時間については、前年同様、大学院生の授業として、大学院生として必要な学習時間が確保できているのか、やや不安が残る結果となっています。各専攻のFD等において学習時間確保の方策の検討が必要かもしれません。

以上